

第 17 回 化学人材育成プログラム

～化学産業による大学院博士後期課程支援制度～

募 集 要 項

2026 年 8 月

主 催 : 一般社団法人 日本化学工業協会
化学人材育成プログラム協議会

後 援 : 経 済 産 業 省

文 部 科 学 省

公益社団法人 日本化学会

公益社団法人 化学工学会

公益社団法人 高分子学会

1. はじめに

化学人材育成プログラムは、日本の化学産業における国際競争力の強化と産業振興の基盤となる若手人材の育成を目的に、化学産業界が求める人材ニーズを大学に発信し、これに応える大学院専攻とその学生を産業界が支援するものです。

【化学産業界が求める高度理系人材像】

- ① 特定分野に関する深い専門性に加え、幅広い基礎的学力を持つ人材
- ② 課題設定能力に優れ、解決のために仮説を立てて実行できる、マネジメント能力を持った人材
- ③ リーダーシップ、コミュニケーション能力に優れた人材
- ④ グローバルな感覚を持った人材

2. 支援内容

1. 奨学金の給付：支援専攻の中から、特に優れた人材育成の取組みを行っている専攻を選定し、各専攻から推薦された学生に対して奨学金を給付します。
(年1人ずつを連続3年推薦可能。1人あたり月額20万円を3年間支給)
2. 学生・企業交流会：化学系専攻の博士後期課程学生と協議会会員企業の採用担当者や研究開発担当者が直接交流できる場を提供します。これにより、就職を考える同学生が各企業の採用や研究開発等の情報を得ることができます。
3. 化学人材交流フォーラム：支援専攻と協議会会員企業との交流を深めるため、同会員企業による講演や奨学生の研究活動発表、および企業で働く先輩博士の事例報告などを通して、産学の相互理解を促進します。
4. 化学産業教育の支援：化学人材育成プログラムが企画する「化学産業論講座」を大学に提供しています。「化学産業論講座」は、「学問としての化学が産業としての化学にどのように結びついているか」をテーマに、実際に企業で活躍する講師が化学産業の概要や同産業の「過去」・「現在」・「未来」について講義します。

3. 対 象

大学院化学系専攻・博士後期課程

4. 今回選考する大学院・専攻への支援期間

2027年4月1日から6年間

5. 応募方法

(1) 応募期間

2026年9月1日から2026年9月30日(必着)まで

(2) 応募書類

「第 17 回 化学人材育成プログラム申請書」

下記 URL 若しくは QR コード（化学人材育成プログラムウェブサイトの「応募・申請・お問い合わせ」ページ）から、「2026 年度申請書式注意事項」をご参照の上、「申請用紙」をダウンロードしてください。

https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/application.html

（Jinzai と ikuseiProg の間の空白は、アンダーバーが入ります。）



(3) 応募先・方法

応募書類のご提出は E-Mail でお願いします。件名は「第 17 回申請書（〇〇大学 大学院〇〇研究科〇〇専攻）」、申請書のファイル名も「〇〇大学大学院〇〇研究科 〇〇専攻.docx」として大学（院）名と専攻名がわかるようにご記載下さい。また、参考資料がある場合は別ファイルとし、申請書と同様に大学名と専攻名を明示してお送りください。

送信先：jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp

化学人材育成プログラム協議会 事務局

電話：070-7414-6420（事務担当：日本化学工業協会 技術部）

6. 選考方法

(1) 審査項目

化学産業界が期待する下記の博士人材像の育成に適合する教育カリキュラムの設定及び博士課程学生による研究実績を審査します。

<人 材 像>

- 1) 特定分野に関する深い専門性に加え、幅広い基礎的な学力を持つ人材。産業界で役立つ基礎知識（知的財産、原価計算、化学物質の安全管理に関する知識に加え AI、MI を活用できるデータサイエンスに関する知識）を習得できている人材
- 2) 課題設定能力に優れ、解決のために仮説を立てて実行できる、マネジメント能力を持った人材
- 3) リーダーシップ、コミュニケーション能力に優れた人材
- 4) グローバルな感覚を持った人材

<研究実績>

- 1) 過去 5 年間の代表的な博士後期課程学生の研究実績

(2) 参考項目

審査にあたっては、化学系企業への就職実績等も参考にします。

- ・過去 5 年間の博士後期課程修了者の化学系企業への就職実績
- ・過去に当プログラム奨学金給付対象であった専攻においては、奨学生の化学人材育成プログラム協議会会員企業への就職実績

(3) 審査の進め方

提出された申請書の内容について、化学人材育成プログラム協議会内の審査委員会において審査を行い、奨学金給付支援対象専攻(上記 2 支援内容の 1~4)及び支援対象専攻(上記 2 支援内容の 2~4)を選定します。

1) 一次審査(書類審査)

提出いただいた申請書の内容について、書類審査を実施します。

2) 二次審査(プレゼンテーション審査)

一次審査を通過した専攻について、当該専攻からプレゼンテーションを行っていたき、その内容を審査します。

二次審査を実施する場合には、選考日の詳細等について各専攻宛に通知します。

3) 審査結果の通知

審査結果は、『奨学金給付支援対象専攻として採択』、『支援対象専攻として採択』及び『不採択』のいずれの場合も、各専攻宛に通知します。

7. 奨学金給付について

奨学金給付支援対象専攻として採択された専攻から推薦された学生に対し、奨学金を給付します。同専攻には、支給開始年度の前年に奨学生推薦依頼をお送りしますので、対象となる学生の推薦書と履歴書を、所定の期限までに事務局へご提出ください。

(1) 給付

2028 年度、2029 年度、2030 年度に博士後期課程に進学した学生のうち、各年度 1 名ずつ、月額 20 万円を原則 3 年間給付します。当該年度に推薦がなかった場合は、給付は行いません。

※本奨学金は給付とし、返還は求めません。ただし、以下のいずれかに該当する場合には、奨学金の打ち切り及び返還を求めることがあります。

- ・当該専攻の履修を中止した場合
- ・正当な理由がなく、3 年間で修了できない場合又は修了できないことが予想される場合
- ・その他奨学金を給付することが不適当と認められる場合

(2) 給付対象学生

①給付対象学生の推薦については、当該専攻にて行っていただきます。

②奨学金給付対象学生は、以下の全てに該当する者とします。

- ・日本の化学系企業に就職意思を有する者
- ・月額 8 万円以上の他の給付型奨学金や政府からの支援を受けていない者

③給付対象学生には、原則 2 年目に会員企業に対する研究活動報告等を行っていただきます(必須)。

(3) 奨学金給付の辞退、一時停止

- ・奨学金給付学生の推薦提出後、当該学生が何らかの理由(他奨学金の受給等)で奨学金給付を辞退する場合は、奨学金給付開始前に限り、専攻在籍の他の学生を

再推薦することができます。

- ・ 奨学金給付開始後の奨学生の変更は認められません。（奨学金給付開始後、奨学金を辞退する場合は、当該学生の残りの給付期間について専攻への奨学金給付は行いません。）

8. フォローアップについて

支援対象専攻に対しては、支援継続の妥当性を確認するため、申請書に記載した博士人材育成の取組み状況について書面等による報告を求めることがあります。

9. スケジュール（予定）

2026 年	9 月 1 日	募集開始（申請書受付開始）
	9 月 30 日	募集締切（申請書受付締切）
	10 月中	一次書類審査
	11 月初旬	一次書類審査結果通知および二次審査案内
	12 月 1 日	二次（プレゼンテーション）審査
	12 月下旬	支援対象専攻・奨学金給付支援対象専攻の決定通知
2027 年	4 月	支援開始（学生・企業交流会、人材交流フォーラム等）
2028 年	4 月	1 期目奨学金給付開始（奨学金給付支援対象専攻のみ）
2033 年	3 月	支援終了（3 期目奨学金給付終了）

化学人材育成プログラム協議会

〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1

住友不動産六甲ビル 7 階（一般社団法人 日本化学工業協会内）

E-Mail : jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp

Website : https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html